



山内自治会

山内だからできること、山内にしかできないこと

戦前よりヤマムム（楊梅）の産地として有名で、区画整理により住宅地が広がり、人口が増えている山内自治会（ひなまのり 廣山實会長）。

自治会では、昨年度より地域のことも達のため「やまむむ食堂」をオープンし、毎月1回、無料ランチを提供しています。普段は草刈り鎌を手に作業をしている役員等が、包丁を手に料理を作っており、集まったことも達も配膳や後片付けを積極的に行っています。

活発な老人会「山内老友会」では、毎日朝夕のことも達への交通安全指導や公園の清掃、ゲートボール、百歳体操等を行い、楽しみながら忙しく過ごしています。また、4月1日からは、

知花自治会

区民が楽しく参加できる自治会を目指して

知花自治会（つよし 宇良敢会長）は、五月ウマチー、六月ウマチー、ウフデーク・獅子舞道じゅねー、新一年生を祝う集い、知花区民納涼夏祭り、自治会敬老会、世代間交流スポレク大会など自治会行事が充実しています。その中でも、毎年夏休みに美里中学校で開催している知花区民納涼夏祭りは、約400人が参加する人気の催しで吹奏楽や踊り、子ども抽選会、青年会エイサーなど多彩なプログラムで賑わっています。

また、昨年には区民が待ち望んでいた「知花字誌」が発刊されました。字誌は、知花の歴史や文化、民俗、伝統行事、戦争体験談など約700ページに及び、知花の誕生から現在まで約550年の歴史を知ることができます。

市循環バスが山内地域を通るようになったため、高齢者の方も市立図書館や市役所等に足を運びやすくなったと喜んでいました。

廣山会長は、今後の目標として「元氣な子ども達がたくさんいるので、その親達にもっと公民館に足を運んでもらえるようなイベントを考えていきたい。今は歴史あるヤマムムを使っただけの新しい地域おこしを模索している」と楽しそうに話します。

宇良会長は「字誌が完成し、地域の宝ができた。編集員や携わった人みんなに感謝している。次は、知花の歴史写真集の作成も計画していきたい。今後も区民みんなが楽しく参加できる自治会を目指し、自治会行事などに力を入れて取り組むことで地域を盛り上げ、加入率増加にもつなげていきたい」と話しています。

TEL: 098-933-4792



▲「やまむむ食堂」で、子ども達に提供するために料理を作る評議員等（山内自治会提供）

TEL: 098-937-4516



▲多彩なプログラムでにぎわう納涼夏祭り（知花自治会提供）

新自治会長紹介

6月1日付けで3自治会に新たな自治会長が就任しました。

中の町自治会は伊禮幸子さんに代わって照屋唯智いぢろさん、松本自治会は上原賢秀さんに代わって川井田聖子さん、高原自治会は渡嘉敷直久さんに代わって仲地清さんが会長に就任しました。

各自治会では、住みよい地域の実現を目指し、自治会長を中心にしたさまざまな取り組みを行っています。



【高原自治会】
仲地清会長



【松本自治会】
川井田聖子会長



【中の町自治会】
照屋唯智郎会長